

Q7：「地域連携教員、地域連携係」の役割とは。

A： 地域連携係が設置されることで、生涯学習係がなくなってしまうわけではない。生涯学習係は、これまでと同様に、学校における生涯学習推進の中心となって、校内における体制づくりや情報の収集・発信などを担っていくことになる。（平成20年度版「芳賀の教育」Q&A参照）その役割の中で、地域との連携に関する部分を新たに設置された地域連携係が担うことになる。その両者の関係は、各学校の実情に応じて様々な形態となると思われるが、この二つの係が連携し学校と家庭、地域との連携を一層推進していくこととなる。

本県では、各校に社会教育主事有資格教員を配置し、学校における生涯学習推進の担い手としてその養成を図ってきた。しかしながら、その支援体制は十分とはいえない現状にあった。そこで、地域連携係として有資格教員の活躍の場を明確にし、学校と地域の連携が一層充実したものになるよう期待するものである。そのため、県教育委員会としても研修会の実施、情報提供、相談窓口の設置等の支援を行っていくものである。

地域連携教員の設置目的

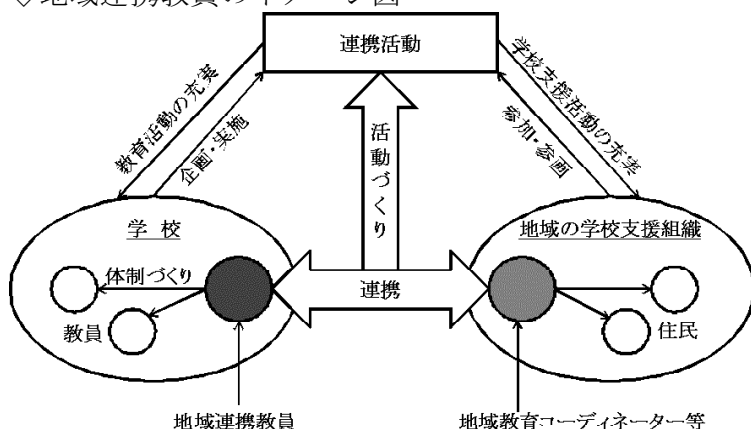
- (1) 地域連携に関する知識や技術を身につけた社会教育主事有資格教員の活動の場を明確にし、各校の地域連携の一層の充実を図ること。
- (2) 地域連携の担当者を明確にすることにより、校内の体制づくりと外部との連絡調整の効率化を図ること。
- (3) 各校に地域連携に関して同じ役割を担う担当者を設置することにより、地域情報の学校間の共有を図ること。

地域連携教員の職務

各校の実情により職務内容に違いはあると思われるが、おおよそ以下のような活動が考えられる。

- (1) 地域と連携した取組の総合調整に関すること
 (具体例) ・学校全体の地域連携に関する年間計画の作成
 ・地域連携計画について教職員への周知のための場の設定
- (2) 地域と連携した取組の連絡調整や情報収集等に関すること
 (具体例) ・地域連携に関する情報収集・発信のための研修会への参加や外部との連絡窓口
 ・地域と連携した取り組みに関する連絡・調整としての学校支援ボランティア等との連絡調整
- (3) 地域と連携した取組の充実に関すること
 (具体例) ・地域と連携した取り組みの企画・運営
 ・教職員が行う地域と連携した活動の企画・運営支援

◇地域連携教員のイメージ図



地域との連携を図っていく上で、現在各校において学校支援ボランティアの方々に協力していただいているのが現状である。一方で、打合せなどの時間が取られるとの問題もある。それらを解消し、連携の効率化を図るため、左図にあるような「地域教育コーディネーター」の存在が重要となる。実際にコーディネーターがいるところでは、スムーズな地域との連携が図れているのが現状である。

総合教育センターでは、「地域教育コーディネーター養成セミナー・生涯学習ボランティア研修」を、芳賀教育事務所では「ふれあい学習コーディネーター養成研修会」を実施している。教職員はもちろんのこと、地域においてボランティアのまとめ役をしてくださる方に、これら研修会への参加を呼びかけていただきたい。